



テロに自衛隊派遣！？

自衛隊を派遣したら？

アルジェリアのプラント工事現場で日本人が十人テロの犠牲になつた。そこで、自民

党が云うように自衛隊法を変え、陸上自衛隊を派遣したらどうなる？テロリストが戦車を先頭に進軍して来るなら自衛隊も戦える。

でも、テロリストは民衆に紛れていて、どこにいるか分からない。

テロリストが爆弾を投げて民衆に紛れ逃げる。その時、第二の爆弾が投げられるかも知れない。どうする？機

関銃をどこに向ける？弾にあたるのは殆ど民衆。今、アフガンで米軍がやっている事。

民衆が助けてくれる

かつてイラクでは高

遠菜穂子さんが誘拐

された。しかし、高遠

さんらはイラクの民衆

の為に奮闘していたから聖職者や民衆が救い出してくれた。

今回、アルジェリア人の支援でターバンを巻きネックウオーマーで顔を隠して逃げ出せた日本人がいた。

テロとの闘いには民衆に深く理解され味方として協力を得る以外に道は無いのだ。

歴史を考えよう

アフリカは十五、六世紀以来、ヨーロッパ勢から侵略され、勝手に国境線を引かれ、略奪され奴隷にされて来た。その深い恨みを理解しなければ、テロには対抗できない。

武器はなくても民衆が味方と助けてくれるのだ。

民衆が守ってくれば、民衆が守ってくれるのだ。

皆さんはどう思われますか？

真鶴港



伊豆半島の根本から南東にむかつて真鶴半島が相模湾に延びている。その真鶴半島の中程の東側、真鶴港に面した海べりに「魚座」がある。一階は海産物の市場で二階は町営食堂だ。

その魚座から向いを眺めた。

山には温暖な地だからだろうか、松などの常緑樹が多い。真鶴の漁民は山の木を大切に

する。木々があるから魚が寄ってくるのだ。

険しい山が海岸に迫る。猫の額のような狭い平地に造船所がある。

この日、修理中の船はなかった。修理の船が来れば、今、引き上げられている茶色の台車を滑り降りし、それに船を乗せて引っ張り上げて作業するのだ。

波が荒い中、鷗が海面近くを、上空を鳶が飛んでいた。